

報道関係者各位

公益財団法人日本オリンピック委員会
三井不動産レジデンシャル株式会社

東京 2020 オリンピック競技大会選手村の地「TEAM JAPAN 2020 VILLAGE」にて ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック 感謝イベント 高木美帆選手と佐藤綾乃選手による「オリンピアントークショー」を開催

公益財団法人日本オリンピック委員会（所在：東京都新宿区、会長：橋本聖子、以下「JOC」）と、TEAM JAPAN グローバル街づくりパートナーの三井不動産株式会社のグループ会社である三井不動産レジデンシャル株式会社（所在：東京都中央区、代表取締役社長：嘉村徹、以下「三井不動産レジデンシャル」）は、2026年4月26日（日）にミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックの感謝イベントである「オリンピアントークショー」を、東京 2020 大会選手村跡地である HARUMI FLAG 内におけるオリンピック・ムーブメント推進拠点「TEAM JAPAN 2020 VILLAGE」内の「Cafe & Restaurant CENTRALE（カフェ アンド レストラン セントラーレ）」にて開催いたしました。

本イベントは、東京 2020 大会選手村の地という唯一無二の特性を生かし、スポーツが街と社会にポジティブな影響を生み出すことをめざし、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックにて活躍され、本年 3 月に現役引退を表明されたスケート／スピードスケート競技の高木美帆選手と佐藤綾乃選手を招き実施しました。日本中に感動を届けたことに対する感謝を両選手へ伝えるとともに、様々なトークテーマからトップアスリートならではの貴重な経験談が語られ、120 名を超える来場者は熱心に耳を傾けていました。



イベント冒頭、高木選手・佐藤選手からの挨拶とともにミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックにおける多くの声援へ感謝の言葉がありました。その後、これまで経験したオリンピックの振り返りや競技生活における苦勞と乗り越えた経験が語られ、スケート競技における個人種目（スピードスケート）と団体種目（チームパシュート）についても、意識するポイントが異なる点や団体パシュートでの各選手の役割など、興味深い話が展開されました。また、これまでの選手村での「食」に関する話題にも話が及びました。

次に、競技からの引退については現役生活を振り返りながら、これから挑戦したいことなど、未来に向けたお話も伺いました。終盤にはお二人の直筆サイン色紙入りの TEAM JAPAN グッズが当たる抽選会が行われたのち、子ども達から花束が贈呈されました。最後に、高木選手・佐藤選手からは未来のオリンピックを目指す子どもたちに向けて「健康に気を付け、競技を楽しみながら目標に突き進んでほしい」という温かいメッセージが送られ、イベントが締めくくられました。

<イベント当日の様子>



高木 美帆氏

北海道中川郡出身。スピードスケート女子の日本代表として、15歳でバンクーバー2010 冬季オリンピックに史上最年少出場。平昌 2018 冬季オリンピックでチームパシュート金メダル獲得、北京 2022 冬季オリンピックで女子 1000m 金メダル獲得、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックで3個の銅メダル獲得など、オリンピックで日本人女子最多となる計10個のメダルを獲得した日本スケート界のレジェンド。2026年3月に現役引退を表明。



©JOC

佐藤 綾乃氏

北海道厚岸町出身。平昌 2018 オリンピックで女子チームパシュート金メダル獲得。当時の冬季オリンピックの日本女子最年少金メダリストとなる。北京 2022 オリンピックで女子チームパシュート銀メダル獲得、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックで女子チームパシュート銅メダル獲得し、3大会連続のメダルを獲得。2026年3月に現役引退を表明。



©JOC

イベント概要

名 称：ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック感謝イベント「オリンピアントークショー」

日 時：2026年4月26日(日) 10時30~11時30分

場 所：TEAM JAPAN 2020 Village Cafe & Restaurant CENTRALE

(東京都中央区晴海五丁目2番31号1階 ららテラス HARUMI FLAG 内)

主 催：三井不動産レジデンシャル株式会社

共 催：公益財団法人日本オリンピック委員会

協 力：株式会社ザファーム

TEAM JAPAN 2020 VILLAGE について

TEAM JAPAN 2020 VILLAGE は JOC のオリンピック・ムーブメント推進拠点として、三井不動産レジデンシャルの全面協力のもと 2024 年 3 月に東京都中央区晴海にオープンしました。東京 2020 大会選手村跡地という象徴的な場所で大会レガシーを継承していくために、展示エリア（日本オリンピックミュージアムのサテライト）と飲食エリアから構成されています。



TEAM JAPAN 2020 VILLAGE 展示エリア

Cafe & Restaurant CENTRALE (カフェ アンド レストラン セントラーレ) について

「TEAM JAPAN 2020 VILLAGE」の飲食エリアである「Cafe & Restaurant CENTRALE (カフェ アンド レストラン セントラーレ)」では、東京 2020 大会の選手村で提供された「GAP 認証食材(※)」と持続可能性に配慮した食材を使った本格的な料理を、アスリートと同様にお客様が美味しくお楽しみいただける空間を提供いたします。

※GAP 認証食材とは：食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉に配慮した農場管理を行う農場と与えられる認証制度です。



Cafe & Restaurant CENTRALE 内観

店内を活用した TEAM JAPAN との取り組み

東京 2020 大会の貴重なレガシー展示を施すとともに、スポーツ観戦なども可能な大型モニターを設置。これまで、パリ 2024 大会のパブリックビューイングや、堀米雄斗選手（スケートボード）、橋本大輝選手・萱和磨選手（体操／体操競技）、森重航（スケート／スピードスケート）らのトークイベントが実施されています。



サラダブッフエ

■ HARUMI FLAG とは

〈東京 2020 オリンピック・パラリンピック選手村として活用後、新築住宅・商業施設として完成〉

東京都施行による晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業における特定建築者 11 社により、開発区域のタウンネームを「HARUMI FLAG」として開発が進められました。約 13ha の広大な土地に、5,632 戸の分譲住宅・賃貸住宅と商業施設の計 24 棟が整備されています。加えて、保育施設・介護住宅・シェアハウスなどの開設により、多様なライフスタイルを受け入れる街づくりを行いました。分譲住宅は全住戸引渡しを終え、街に賑わいが生まれています。選手村のレガシーを継承し、官民連携のもと、街区と道路・公園などを一体的に整備して美しい街並みを実現した、これからの都市生活のフラッグシップとなる街。それが「HARUMI FLAG」です。

